

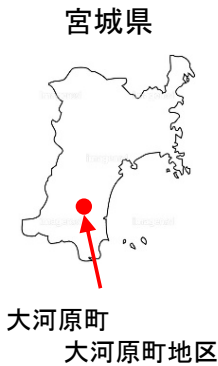
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻と養豚を中心とした畜産が主体の平地農業地域。
- 高齢化や後継者不足で担い手が減少し、新たな担い手の育成・確保が急務。また、農地の区画が小さいため、大型の機械化が難しく、大区画化が課題。

【支援内容・背景】

- 地域では場整備が計画されており、経営面積の拡大、低コスト化に対応すべく、農地の集積・集約や作業の効率化、省力化を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で大規模水稻経営に取り組み、地域の農地を積極的に引き受けるほか、指導農業士として若手就農者の指導育成に取り組む。
このため、地域における大規模水稻経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「合同会社あぐりパートナー」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成23年 家族経営の法人化（合同会社）
- 平成24年 農業経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 経営面積の拡大と低コスト化を図るためには、作業の効率化、省力化が必要。水稻作業の省力化等に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

- 売上高 49百万円
- 経営面積 59ha
（水稻）

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台
総事業費 9,600千円
（国費 2,618千円）



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 売上高 60百万円 **(122%)**
- 経営面積 70ha **(119%)**
（水稻）

事業の
効果

《対象者》 水稻作業の効率化、省力化が可能となり、経営面積、売上高の増加が実現。
《地区》 水稻の生産性向上と担い手への農地の集積・集約が図られることにより、安定した経営が可能な水稻経営モデルが確立。